

令和6年度 社会福祉法人 富山市社会福祉協議会 事業計画書

はじめに令和6年1月1日に石川県能登半島地方を震源とする地震により犠牲となられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧・復興とともに、一日も早く平穏な日常が戻りますようお願い申し上げます。

本会では地震発生直後から復旧・復興に向け、微力ながら支援活動をさせていただいており、この活動を通して改めて災害時の各関係機関との連携の重要性や日頃から住民相互の繋がりを深めることの大切さを認識しました。

さて、これまで令和2年度に作成した「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをめざして」を基本理念とした地域福祉活動計画に基づき、様々な取り組みを進めてまいりましたが、本年度は最終年度であり、この5年間の検証を行いながら事業を進めてまいります。一方で、昨年度に富山市で作成された地域福祉計画に基づきながら、新たな計画（令和7年度から5年間）を市や関係機関と協力しながら策定することにしております。

本年度も地域共生社会の実現を目指し、富山市が実施する重層的支援体制整備事業に参画しながら生活困窮者自立支援事業や心配ごと相談事業の相談機能の充実、特に福祉後見サポート事業では市民後見人の育成、法人後見の受任、中核機関としての申立て手続き支援や後見人等の支援業務などを行いながら、成年後見制度の利用普及啓発に努めます。さらに新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金特例貸付の返済についての相談も依然多く、今後も自立に向けた継続的な支援に努めてまいります。

また地域ぐるみ福祉活動推進事業、ケアネット事業等を通して地区社会福祉協議会等を支援し、生活支援体制整備事業では人材育成の研修会を行いながら、地域づくりの強化を図っていきます。

その他、地域食堂等への助成金の条件緩和を行うと共に、新たに健康運動指導士養成講座を実施し、eスポーツを通じて地域で積極的に介護予防や異世代交流を進める機会を作ります。また職員全員が災害時に迅速にその役割が果たせるよう研修を進めていくとともに、外部研修へも積極的に参加していきます。

これまでと同様、経営改善計画の取り組みを念頭におきながら経費削減や効率的・効果的に事業を進めるとともに、持続可能な開発目標（SDGs）を意識し、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

令和6年3月

社会福祉法人富山市社会福祉協議会
会 長 高 城 繁